**テーマ史　18**

**女性の権利獲得**

**１．次の文中の空欄　ａ　～　ｊ　にあてはまる語句を下の語群から選び，問１～５に答えよ。**

　古代ギリシア・ローマ社会において女性は政治・法律上の権利はなく，中世ヨーロッパにおいても，『神学大全』を著した　ａ　ら聖職者は聖書を根拠に男性を女性の上位においた。しかし，フランス王と離婚後，　ｂ　朝の初代王ヘンリ2世と結婚し，広大な領地をイングランドにもたらしたアリエノール=ダキテーヌ，カルマル同盟を主導した　ｃ　女王マルグレーテのような女性もいた。近世に入ると家督継承をめぐる戦争に耐え，①プロイセンに対抗したマリア=テレジア，また，啓蒙専制君主として名声を博したエカチェリーナ2世らすぐれた女性君主が出現した。女性に法的権利はなかったが，民衆層でも召使いや産婆，行商など働く女性も増えていった。

　18世紀後半のアメリカ『独立宣言』やフランス革命中に　ｄ　で採択された『人権宣言』は人間の自由・平等を掲げた。しかし，主権者の「国民」に女性は含まれず，ナポレオン法典では女性は家長の支配下に位置づけられた。19世紀には産業革命で女性が労働者として雇用されるようになり，②女性の社会進出が進行していく。イギリスでは数次にわたって制定された　ｅ　で女性の労働時間が規定され，労働環境の改善がなされた。また，女性参政権要求運動もおこった。しかし，多くの国で女性が参政権を獲得したのは，第一次世界大戦の時期，1920年代前後であった。総力戦で重要な役割を果たし，国民としてようやく認められたのである。イギリスでは第

　ｆ　回選挙法改正で条件付きながら女性参政権が認められ，ドイツでは③1919年に制定されたヴァイマル憲法で男女平等の選挙権が保障された。イスラーム圏ではトルコ共和国で，初代大統領　ｇ　による諸改革において1934年に女性参政権が承認された。他のアジア諸国でも19世紀末から女性解放運動がおこった。インドネシアの　ｈ　は女子教育に生涯を捧げ，1908年に設立されたジャワ人の団体　ｉ　にも影響を与えた。中国では女性皇帝は　ｊ　をたてた則天武后のみであり，④儒教道徳，纏足の習慣などのため女性の地位は低かった。しかし，清末には革命運動に身を投じた秋瑾のような人物も現れた。朝鮮や日本においても，「家」制度を支える「良妻賢母」という考えに対し，女性解放論が主張された。しかし，韓国や日本の女性参政権獲得は第二次世界大戦後であった。現代ではインディラ=ガンディー首相やサッチャー首相ら政治家も多く，また，⑤ノーベル平和賞受賞者にも女性が名を連ねている。

〔語群〕

(ｱ)３　(ｲ)４　(ｳ)ムスタファ=ケマル　(ｴ)レザー=ハーン　(ｵ)インドネシア国民党

(ｶ)工場法　(ｷ)トマス=アクィナス　(ｸ)プランタジネット　(ｹ)アウグスティヌス　(ｺ)新

(ｻ)ステュアート　(ｼ)ブディ=ウトモ　(ｽ)憲法制定国民議会　(ｾ)スウェーデン　(ｿ)周

(ﾀ)立法議会　(ﾁ)デンマーク　(ﾂ)労働組合法　(ﾃ)カルティニ　(ﾄ)ミドハト=パシャ

問１　下線部①について，この王がフランスと同盟したため生じた外交関係の変化を何というか。

問２　下線部②について，女性解放をテーマに戯曲『人形の家』を書いたノルウェーの劇作家は

誰か。

問３　下線部③について，この年，社会主義革命をとなえてスパルタクス団が蜂起したが，その　　指導者で殺害された女性は誰か。

問４　下線部④について，儒教を否定し，纏足の禁止や男女平等をとなえて蜂起した反乱は何か。

問５　下線部⑤について，軍事政権に対するミャンマー民主化運動の指導者で1991年にノーベ

　　ル平和賞を受賞したのは誰か。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ａ 　 | ｂ 　 | ｃ 　 | ｄ 　 | ｅ 　 |
| ｆ 　 | ｇ 　 | ｈ 　 | ｉ 　 | ｊ 　 |
| 問１　 | 問２　 |
| 問３　　 |  問４　 | 問５　　 |

**２．つぎの文章を読んで，下記の設問に答えよ。**

　歴史の中で女性はどう存在してきたのか。歴史教科書では，エリザベス1世やマリア＝テレジアのような女性君主を除けば女性に関する記述は少ない。また，政治的なリーダー，発明家，(A)科学者などの英雄の歴史を描くのが伝統的な歴史記述のスタイルであったから，名もない大勢の人の歴史は性別に関係なく十分に語られてこなかったが，この場合も，女性は男性よりも埋もれた存在だった。

　多くの民衆女性が「パンをよこせ」と叫びながらパリから　a　まで行進したように，女性もフランス革命に積極的に参加したことはよく知られている。しかし，オランプ＝ドゥ＝グージュは，フランス人権宣言を男性の権利宣言であると批判した。19世紀初頭の(B)ナポレオンの民法典によっても女性は男性の支配のもとにおかれた。19世紀ヨーロッパの女性は，男性である父や夫の権威にますます従属し家と結びつけられた存在としてみなされるようになった。

　18世紀には知的な活動を積極的におこなう貴族や新興市民層の女性がいた。グージュもその一人である。革命前のフランスでは，女性が　b　を主宰し啓蒙思想家たちの交流の場を提供した例がみられた。また，18世紀末のイギリスの女性は，(C)西インド諸島産の砂糖の消費をボイコットするなどして奴隷解放運動に加わった。しかしながら，女性の「公然とした」知的・政治的活動は制限されていた。フランスのフラゴナールが描いた「読書する娘」のなかで女性が読んでいる本は「知的な」書物ではなく小説であった。『人間不平等起源論』を著した　c　はジョフラン夫人の　b　も訪れていたとされるが，『エミール』において男女別の教育の必要性を説き「母性」を唱えているのは皮肉である。スウェーデンの分類学者である　d　は自然体系のなかで人間をとらえその分類を試みたが，こうした17世紀以降の科学の進展は，女性の弱さや劣位を「科学的に」証明する手助けをした。男女の身体の違いを明らかにすることを通じて，女性の男性への従属を良しとする価値観の形成に寄与したのである。

　こうした価値観はまずは新興市民層のあいだで共有されたが，19世紀が進むにつれ労働者階級にも共有されるようになった。イギリスでは，(D)ヴィクトリア女王一家が「模範的な家族」の象徴となり，家庭と結びつける理想的な女性像が当時の規範として社会全体に定着していった。

　e　が著した『ボヴァリー夫人』や　f　が著した『女の一生』に出てくる女性は，19世紀フランスのジェンダー規範のなかで生きる女性であった。工場労働や参政権の法的枠組みは，こうした規範を軸に形成された。19世紀に3回行われたイギリスの選挙法改正も男性にとっての改革であった。(E)女性選挙権の実現は戦時における女性の貢献が評価されたことがきっかけとなった。イギリスではまずは1918年に　g　率いる挙国一致内閣のもと30歳以上の女性に，その10年後に男性と同じ21歳以上の女性に与えられた。フランスでは45年にようやく実現した。

問1　文中の空欄a～gを埋めるのに最も適切な語句を記せ(同一記号は同一語句)。

問2　下線部(A)について，19世紀末に放射性物質を研究しラジウムを発見した女性は誰か記せ。

問3　下線部(B)について，妻ジョゼフィーヌを伴いナポレオンの戴冠式が行われたパリのノートルダム寺院は何様式の建築物か記せ。

問4　下線部(C)について，コロンブスが1492年に最初に到達したとされるバハマ諸島上の島は何か記せ。

問5　下線部(D)について，ヴィクトリア女王の時代には，保守党と自由党の二大政党による議会政治が行われたが，その保守党を率い帝国主義につながる膨張政策を推進し，スエズ運河会社株買収を実現した政治家は誰か記せ。

問6　下線部(E)について，女性選挙権が世界に広まったのは20世紀に入ってからであるが，19世紀のあいだに選挙権が女性に認められたところとして適切なものを選び，記号で記せ。

(イ)フィンランド　(ロ)ドイツ　(ハ)オーストラリア　(ニ)ニュージーランド　(ホ)トルコ

（2020年　成城大学　Ａ方式　経済（一部抜粋））

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 問1a　　 | b　　 | c　　 | d　　 |
| e　　　 | f　　 | g　　 | 問2　　 |
| 問3　　 | 問4　 | 問5　　 | 問6　　 |